

平成 17 年 10 月 17 日

科学技術・学術審議会学術分科会
科学研究費補助金審査部会
人文・社会系委員会主査 水野 紀子

研究領域名：「世代間の利害調整に関する研究」

評価結果：A+（期待以上の研究の進展があった）

意見：

本研究領域では、5年間に論文 635 点、最終的な成果を取りまとめた英文研究書 2 点等を刊行し、学界と実務に対して多大の貢献を実現した。世代間の衡平性に対して経済学および政治学的にアプローチし、世代間の利害調整を実態的、原理的、政策論的に解明するという所期の目的を十分に達成している。とくに評価すべき点は次のとおりである。第一に、医療・介護、年金、少子化等の焦眉の課題について、理論モデルの構築とシミュレーションを行った上で有効かつ具体的な政策提言を導出している。第二に、世代間の衡平性を経済学、政治学、倫理、哲学の統合という側面から考察し、新たな研究領域を切り拓いた。第三に、国際的比較政策研究として有意義な研究成果が得られ、同時に、国際的なレベルからジャーナリズムに至るまで多様なメディアを通じて具体的な政策提言が発信され、社会的貢献が極めて大きい。他方で、次のような課題が残された。第一に、個別課題間の連関が不十分なため、包括的かつ一般論的な衡平性の原理の導出にまで至っていない。これは、「世代」が明確には限定されず、その定義が若干不十分であることに由来すると思われる。第二に、研究面の顕著な進展に比して、若手研究者養成等の教育面が若干弱く、その強化・充実がさらに図られるべきであった。